

Japanese Registered Utility Model No. 3020677

A. Relevance of the Above-identified Document

The following is a partial English translation of exemplary portions of non-English language information that may be relevant to the issue of patentability of the claims of the present application.

B. Translation of the Relevant Passages of the Document

[Claim 2] The wireless audio transmitting device of a television receiver as set forth in claim 1, wherein a transmitting channel includes plural waves.

[Claim 3] The wireless audio transmitting device of a television receiver as set forth in claim 1, wherein an arbitrary wave can be selected with a use of a remote control of said television receiver.

[0005]

[EFFECT]

The present invention is as described above. If there are a plurality of television receivers at the same place, interference is prevented by individually setting the outgoing channels.

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11)実用新案登録番号

第3020677号

(45)発行日 平成8年(1996)2月6日

(24)登録日 平成7年(1995)11月15日

(51)Int.Cl.⁶

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

H 0 4 N

5/60

Z

5/00

A

5/64

5 4 1 N

評価書の請求 未請求 請求項の数 3 書面 (全 4 頁)

(21)出願番号

実願平7-4134

(22)出願日

平成7年(1995)3月28日

(73)実用新案権者 595064326

藤原 眞英

鹿児島市鴨池新町26番1-1401号

(72)考案者 藤原 眞英

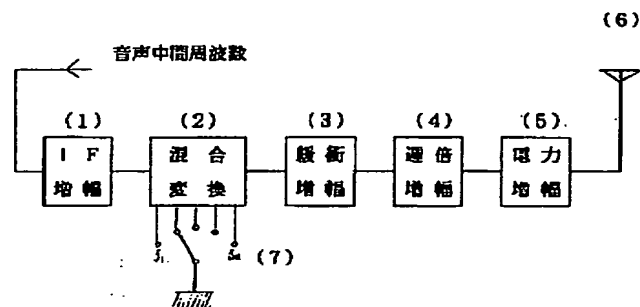
鹿児島市鴨池新町26番1-1401号

(54)【考案の名称】 テレビ受像機音声無線伝送装置

(57)【要約】

【目的】 この考案は、テレビ受像機に音声無線伝送装置を付けた、ワイヤレス遠隔聴取に関するものである。

【構成】 コンバーターで変換された、音声中間周波数を切替え器でチャンネルを選定し、微弱電波で送信する。



(2)

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】 テレビ受像機で受信したチャンネルの音声を、免許のいらない微弱電波で送信し、ラジオ受信機で聴取できる装置。

【請求項 2】 送信チャンネルは、複数波備えた請求項 1 のテレビ受像機音声無線伝送装置。

【請求項 3】 テレビ受像機のリモコンで、任意の波が選べる請求項 1 のテレビ受像機音声無線伝送装置。

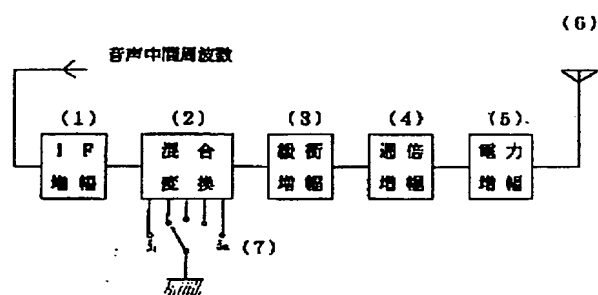
【図面の簡単な説明】

【図 1】 本考案のブロック回路図

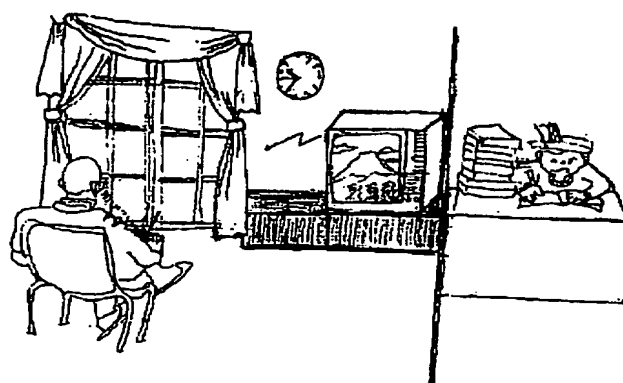
【符号の説明】

- 1 音声中間周波数増幅器
- 2 混合変換器
- 3 緩衝増幅器
- 4 通倍増幅器
- 5 電力増幅器
- 6 アンテナ
- 7 送信チャンネル切替え器

【図 1】



【図 2】



【手続補正書】

【提出日】平成 7 年 8 月 15 日

【手続補正 1】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 2

【補正方法】削除

(3)

【考案の詳細な説明】**【0001】****【産業上の利用分野】**

この考案は、テレビ受像機で受信した音声を無線で聴取できる装置に関するものである。

【0002】**【従来の技術】**

従来、他人に迷惑かけずテレビ音声を聞くには、有線のイヤホンしか無く、ある場所では不適當であつた。

【0003】**【考案が解決しようとする課題点】**

本案は、その欠点を除いて、無線で聴こうとするものである。

【0004】**【課題を解決するための手段】**

上記の目的を達成する本考案の構成を説明すると、本考案のテレビ受像機音声無線伝送装置は、受信したチャンネルの音声中間周波数をVHFに変換し、微弱電波で発信する回路になっている。

【0005】**【作用】**

本案は、以上の回路であるが同じ場所に複数の受像機がある時は、発信チャンネルを個々に設定すれば、混信が防げる。

【0006】**【実施例】**

尚、本考案の実施に当たって次のような事ができる。

(イ) FM付きラジオ受信機又は、VHF帯受信機付きリモコンで少々離れた所でも聞く事ができる。

(ロ) イヤホンのような線を張る不便さが解消できる。

【0007】**【考案の効果】**

(4)

したがって、家庭、病院、オフィス等でテレビを見る場合、他人に迷惑をかけない。